

## Ⅱ. 事業の概要

### 【事業計画の進捗・達成状況ならびに主な教育・研究概要】

1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）
  - (1) 海外研修
  - (2) 招聘教授
  - (3) 芸術特別研究
  
2. 演奏会関係
  - (1) 演奏会
  - (2) テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ活動報告
  - (3) 生涯学習講座
  
3. 研究所関係
  - (1) オペラ研究所
  - (2) バレエ研究所
  - (3) 舞台芸術政策研究所
  - (4) 歌曲研究所
  - (5) アートマネジメント研究所
  - (6) 音楽療法研究所
  - (7) 音楽教育研究所
  - (8) ピリオド音楽研究所
  
4. 附属教室関係
  - (1) 附属音楽・バレエ教室
  - (2) 附属ピアノアートアカデミー
  
5. 2023 年度入学試験報告

### 【中長期計画】

- 学校法人東成学園中長期計画 2020-2024 2022 年度進捗報告
- 財務に関する中長期計画の報告

# 1. 教学関係

## (1) 海外研修

### 1. イタリア研修

日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等の向上を目的として実施している。

2022（令和4）年度は、2021（令和3）年度に引き続き、新型コロナウイルスや紛争、治安などの世界情勢を総合的に鑑みて、海外での実地研修を中止し、日本国内における代替研修により実施した。

	2022（令和4）年度 実績	参加人数
海外研修Ⅰ（必修）		
長期A団（ピアノ）	日本国内で代替研修を実施	20名
長期B団（声楽）	日本国内で代替研修を実施	31名
海外研修Ⅱ（選択）		
ヨーロッパ実技	中止	
海外研修Ⅳ（選択）		
ヨーロッパ見学	中止	

※ 国内での代替研修を行ったため、イタリア研修所の利用はなかった。

### 2. 英語研修（必修）

「英語研修」はアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコース必修科目として実施している。

2021（令和3）年度は新型コロナウイルスの状況を鑑みて学内で代替研修を実施したが、2022（令和4）年度は例年実施している福島県における語学研修施設（ブリティッシュヒルズ）での研修を再開することができた。

アートマネジメントコースの学生12名と舞台スタッフコースの学生27名の合計39名が参加し、無事研修を終了した。

アートマネジメントコースの学生1名については、健康上の理由（診断書提出済）から研修への参加が困難であると判断し、学内での代替研修を実施した。

3. アートマネジメント・舞台スタッフヨーロッパ研修（選択）

例年アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目「海外研修Ⅱ」として、また、大学院修士課程の「海外研修Ⅴ」（個人研修）、「海外特別研修①②」として合同で実施している。イギリスとイタリアの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、現地の舞台関係者による特別講義を実施している。

2022（令和4）年度は、2021（令和3）年度に引き続き、新型コロナウイルスや紛争、治安などの世界情勢を総合的に鑑みて、研修を中止とした。

4. バレエロンドン研修（選択）

例年、大学・短大のバレエコース合同で「海外研修Ⅱ」、「海外研修Ⅴ」の選択科目として実施している。

2022（令和4）年度は、2021（令和3）年度に引き続き、新型コロナウイルスや紛争、治安などの世界情勢を総合的に鑑みて、研修を中止とした。

5. ミュージカル実技研修（選択）

例年、ニューヨークの総合ダンススクール「ステップス」及び「BDC」でダンスのレッスンを中心に実施している。

2022（令和4）年度は、2021（令和3）年度に引き続き、新型コロナウイルスや紛争、治安などの世界情勢を総合的に鑑みて、研修を中止とした。

6. ニューヨーク見学研修（選択）

例年、「海外研修ⅡD」として開講し、ミュージカル実技研修「海外研修ⅡC」と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施している。

2022（令和4）年度は、2021（令和3）年度に引き続き、新型コロナウイルスや紛争、治安などの世界情勢を総合的に鑑みて、研修を中止とした。

## 2022年度「海外研修Ⅰ」 声楽 代替課題

### ■ 声楽実技・演習

海外招聘講師による対面レッスン	
本場イタリアから招聘する声楽講師による、特別レッスンを受講。（30分×3回）	ジャン・ルカ・パゾリーニ氏 セレーナ・ファルノッキア氏 レオノール・ボニージャ氏

ユリホールでの成果発表会	
海外研修の代替課題で学習した成果を、ユリホールで発表。	声楽部会専任教員

新国立劇場での舞台演習	
特別講座とバックステージツアーを聴講し、また、実際に新国立劇場の舞台にて歌唱。	新国立劇場職員 声楽部会専任教員

### ■ 声楽&オペラ関連講座

声楽講座「光岡暁恵 トーク&コンサート」	
声楽家・光岡暁恵先生のトークおよびコンサートを聴講。	光岡暁恵非常勤講師

シンポジウム「ロッシーニとオペラセリア」聴講	
ベルカント・オペラ・フェスティバルのシンポジウム「ロッシーニとオペラセリア～ナポリにおける作品～」を聴講。	折江忠道客員教授 カルメン・サントーロ氏ほか

ベルカント・オペラ・フェスティバル スペシャル・ガラ・コンサート 鑑賞	
ベルカント・オペラ・フェスティバルのスペシャル・ガラ・コンサートを鑑賞。	-

オペラ「オテッロ」 鑑賞	
海外招聘講師も出演する、超一流のオペラ公演を鑑賞。	-

海外招聘講師によるレクチャーコンサート	
海外招聘講師による、オペラ/声楽に関するレクチャーコンサートを聴講。	ジャン・ルカ・パゾリーニ氏 セレーナ・ファルノッキア氏 レオノール・ボニージャ氏

### ■ イタリア文化関連講座

イタリア文化講座 ①「愛と欲望のヨーロッパ」	
オンデマンド講座「愛と欲望のヨーロッパ」を視聴し、レポート提出（800字程度）。	有田栄教授

イタリア文化講座②「イタリア都市の魅力はどこから来るのか？」	
イタリア研究の専門家による、「テリトリー」という概念を起点とした経済的価値と非経済的価値とのバランスの取れた社会が形成されるプロセスについての講演を聴講。	陣内秀信氏

イタリア料理講座	
イタリア人料理家によるイタリア料理の特別講座を受講。	マッテオ・インゼオ氏

### ■ その他の課題

金融教育特別講座（ピアノ演奏家コースと合同）	
金融業界の特別講師による、金融教育（国際経済の内容を含む）の講座を聴講。	野村証券（株）*寄付講座

ヨーロッパ芸術鑑賞（舞台芸術&美術）	
ヨーロッパの舞台芸術および美術を鑑賞し、それぞれ800字程度のレポート提出。	-

## 2022年度「海外研修Ⅰ」 ピアノ 代替課題

### ■ ピアノ実技・演習

海外招聘教授による対面レッスン	
海外から招聘するピアノ講師による、対面レッスンを受講。	パヴリーナ・ドコフスカ教授
ユリホールでの成果発表会	
海外研修の代替課題で学習した成果を、ユリホールで発表。	鍵盤楽器部会専任教員

### ■ ピアノ関連講座

アンサンブル特別講義	
アンサンブルに関する特別講義を聴講。	鍵盤楽器部会専任教員
YAMAHA ピアノ工場見学	
YAMAHAのピアノ工場を見学。	YAMAHA浜松工場職員
浜松市楽器博物館 鑑賞	
浜松市楽器博物館の展示を鑑賞し、楽器への理解を深める。	-
海外招聘講師によるレクチャー	
海外招聘教授による、ピアノに関するレクチャーを実施予定。	パヴリーナ・ドコフスカ教授

### ■ ヨーロッパ文化講座

愛と欲望のヨーロッパ	
オンデマンド講座「愛と欲望のヨーロッパ」を視聴し、レポートを提出（800字程度）。	有田栄教授
ローマ・フィレンツェ、・ヴェネツィアの都市と美術	
オンデマンド講座「ローマ・フィレンツェ、・ヴェネツィアの都市と美術」を視聴し、レポートを提出（800字程度）。	宮崎克己教授
ポスト・コロナ時代に向けて変容する劇場、そしてアートマネジメント	
実演舞台芸術プロデューサー養成講座「ポスト・コロナ時代に向けて変容する劇場、そしてアートマネジメント」を聴講。	ベルンハルト・ケレス氏

### ■ 国際情勢関連講座

金融教育特別講座（声楽コースと合同）	
金融業界の特別講師による、金融教育（国際経済の内容を含む）の講座を聴講。	野村証券（株）*寄付講座
国際経済・社会の情勢	
国際理解、国際交流及び国際協力を推進する財団法人代表による、国際経済・社会情勢についての講義を聴講。	角南篤氏

### ■ その他の課題

芸術公演鑑賞	
指定された芸術公演を鑑賞し、それぞれ800字程度のレポート提出。	-
自主企画コンサート	
企画から演奏まで、自分たちでプロデュースする自主企画ピアノコンサート。	鍵盤楽器部会専任教員

## (2)海外招聘指導者

### 2022（令和4）年度 招聘指導者実績

1. ラドヴァン・ヴラトコヴィチ（ホルン）  
公開レッスン・ミニコンサート 5月17・18日
2. ソフィー・デルヴォー（ファゴット）  
公開レッスン・ミニコンサート 5月25日
3. アンドレアス・オッテンザマー（クラリネット）  
公開レッスン 6月30日
4. ジョン・オコーナー（ピアノ）  
個人レッスン・公開講座 7月11日～7月24日
5. デイビッド・クリストファー・パンツィル（打楽器）  
公開レッスン 9月8日
6. シルヴィア・カレドゥ（フルート）  
公開レッスン 10月2日
7. クリストフ・ハルトマン（オーボエ）  
公開レッスン 10月16日
8. ガボール・タルコヴィ（トランペット）  
公開レッスン 11月27日
9. ユージン・ミリアロ・コーポロン（指揮）  
吹奏楽定期演奏会指揮および吹奏楽指導 11月29日～12月5日
10. パヴリーナ・ドコフスカ（ピアノ）  
個人レッスン 1月16日～1月24日
11. ジャクリーン・ヴェント（ミュージカル）  
ワークショップ 2月2日～2月9日
12. ジャン・ルカ・パヴリーニ（声楽）  
個人レッスン 2月18日～2月22日
13. レオノール・ボニージャ（声楽）  
個人レッスン 2月18日～2月22日
14. セレーナ・ファルノッキア（声楽）  
個人レッスン 2月18日～2月22日

※以下の海外招聘指導者については、事業計画で予定していたが、中止となった。

1. カルメン・サントーロ（声楽）

## (3)2022年度「芸術特別研究」実施演目

【分野区分】 A：音楽公演 B：舞台公演 C：日本古典芸能公演

日程	曜日	名称	会場
4月9日	土	アルテリッカプレ 若きアーティストたちの響演 ～昭和音楽大学同侪会とともに～	ユリホール
4月10日	日	アルテリッカプレ 若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポピュラーライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	新百合21ホール
4月16日	土	アルテリッカプレ 若きアーティストたちの響演 ミュージカル・スプリング・ライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	スタジオ・リリエ
4月16日	土	アルテリッカプレ 若きアーティストたちの響演 ミュージカル・スプリング・ライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	スタジオ・リリエ
4月22日	金	アルテリッカ オープニング公演藤原歌劇団公演 オペラ「イル・カンピエッロ」	ジーリオ
4月23日	土	アルテリッカ オープニング公演藤原歌劇団公演 オペラ「イル・カンピエッロ」	ジーリオ
4月24日	日	アルテリッカ オープニング公演藤原歌劇団公演 オペラ「イル・カンピエッロ」	ジーリオ
4月28日	木	アルテリッカ 峰厚介 ジャズテナーサックスの魅力	新百合21ホール
4月29日	金・祝	アルテリッカ 狩野泰一 篠笛 JAPANESE JAZZ	新百合21ホール
4月30日	土	アルテリッカ トリオ・リベルタ コンサート 『CLASSIC×PIAZZOLLA』	ジーリオ
5月1日	日	アルテリッカ ザ・ギター&フルート ライヴ ギター：福田進一 フルード：工藤重典	ユリホール
5月3日	火・祝	アルテリッカ 昭和音楽大学 音楽芸術運営学科アートマネジメントコース 企画制作演習企画公演Vol.1 日本のうたをうたう ～いま、あなたに聴いてほしいうた～	ユリホール
5月3日	火・祝	アルテリッカ 「ゴジラ」シネマコンサート 指揮：和田薫 演奏：テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ 合唱：昭和音楽大学合唱団	ジーリオ
5月5日	木・祝	アルテリッカ しんゆり 本田雅人 B. B. Station University ゲスト：KAN	ジーリオ
5月7日	土	アルテリッカ しんゆり 東京交響楽団 ザ・ロマンチック コンサート 指揮：飯森範親 ピアノ：牛田智大	ジーリオ
5月14日	土	アルテリッカ フィナーレ公演 スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版「ジゼル」	ジーリオ
5月15日	日	アルテリッカ フィナーレ公演 スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版「ジゼル」	ジーリオ
5月17日	火	推薦演奏会①	ユリホール
5月26日	木	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内発表会 ①	ジーリオ
6月4日	土	昭和ウインド・シンフォニー第23回定期演奏会	ジーリオ
6月4日	土	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場
6月5日	日	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場
6月7日	火	推薦演奏会②	ユリホール
6月9日	火	第25回 作曲作品発表	ユリホール
6月16日	木	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ学内発表会 ②	ジーリオ
6月19日	日	室内合奏団第12回定期演奏会	ユリホール
6月23日	木	教員・研究員研究発表①	ユリホール
6月26日	日	吹奏楽団特別演奏会	ジーリオ
日程	曜日	名称	会場

7月9日	土	テアトロ・ジューリオ・シヨウワ・オーケストラ第25回定期演奏会	ジューリオ
9月21日	水	文楽（日本伝統音楽演習との乗り入れ）	ジューリオ
9月29日	木	教員・研究員研究発表②	ユリホール
10月8日	土	大学オペラ公演	ジューリオ
10月9日	日	大学オペラ公演	ジューリオ
10月11日	火	推薦演奏会③	ユリホール
10月13日	木	テアトロ・ジューリオ・シヨウワ・オーケストラ学内発表会 ③	ジューリオ
10月19日	水	室内楽定期演奏会	ユリホール
10月22日	土	第29回コンチェルト定期演奏会①	ジューリオ
10月25日	火	学長賞声楽コンクール（本選）	ジューリオ
11月2日	水	教員・研究員研究発表③	ユリホール
11月10日	木	作曲 作品発表	ユリホール
11月12日	土	第29回コンチェルト定期演奏会②	ジューリオ
11月20日	日	昭和音楽大学管弦楽団第41回定期演奏会	ジューリオ
11月23日	水・祝	音大オーケストラ・フェスティバル	ミューザ川崎シンフォニーホール
11月29日	火	推薦演奏会④	ユリホール
12月1日	木	電子オルガン定期演奏会	ユリホール
12月4日	日	昭和音楽大学吹奏楽団第36回定期演奏会	ジューリオ
12月6日	火	ウインドシンフォニーコース実習発表会	ジューリオ
12月10日	土	第47回メサイア	ジューリオ
12月15日	木	テアトロ・ジューリオ・シヨウワ・オーケストラ学内発表会 ④	ジューリオ
12月24日	土	ミュージカル・舞台スタッフ卒業公演	ジューリオ
12月28日	水	テアトロ・ジューリオ・シヨウワ・オーケストラ第九演奏会	ジューリオ

## 2. 演奏会関係

### (1) 演奏会

2022年度実績

月日	曜日	名称	会場	来場者数
4月1日	金	令和4年度 入学式奏楽・祝賀演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	式典 関係者
4月9日	土	2022若きアーティスト達の響演 新人演奏会 (アルテリッカプレイベント)	ユリホール	外部主催
4月10日	日	2022若きアーティスト達の響演 ジャズ・ポピュラー ライブ (アルテリッカプレイベント)	新百合トウエンティワンホール	外部主催
4月16日	土	2022若きアーティスト達の響演 ミュージカル・スプ リング・ライブ (アルテリッカプレイベント)	スタジオ・リリエ	外部主催
5月14日	土	昭和音楽大学×ソウル市立大学校—日韓交流コンサ ート	ユリホール	中止
5月17日	火	第1回推薦演奏会 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	109
6月4日	土	昭和ウインドシンフォニー第23回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	537
6月7日	火	第2回推薦演奏会 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	137
6月9日	木	第25回作曲学科作品発表 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	66
6月19日	日	室内合奏団第12回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	201
6月26日	日	吹奏楽団特別演奏会 (2部制 =①11:00/②14:00)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	① 679 ② 764
7月3日	日	学部ミュージカルコース(3年) 前期成果発表 ショーケース「Cross The Line」 (学内・出演関係者のみ)	スタジオ・リリエ	①62 ②61
7月17日	日	学部ミュージカルコース(4年) 前期成果発表「ロス ト・フォレスト」 (学内出演関係者・講習会参加者のみ)	スタジオ・リリエ	①61 ②62
8月3日	水	短大バレエコース (1, 2年) 前期成果発表 (学内出演関係者・講習会参加者のみ)	スタジオ・リリエ	75
8月9日	火	フェスタ・サマーミュージザKAWASAKI2022 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウ ワ・オーケストラ	ミュージザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
9月24日	土	ジュラル・プーレ「フランス音楽の至芸」 レクチャー&コンサート ～ドビュッシー生誕160年に寄せて～	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	280
9月29日	木	教員・研究員研究発表① (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	65
10月8日	土	大学オペラ公演2022《フィガロの結婚》 文化庁 令和4年度 大学における文化芸術推進事業 神奈川県マグカル展開促進補助金対象事業	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	764
10月9日	日			873
10月11日	火	第3回推薦演奏会 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	100
10月13日	木	第11回アンサンブルコンクール (学内関係者のみ)	ユリホール	43
10月18日	火	第20回学長賞声楽コンクール 予選 (学内関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	約50

月日	曜日	名称	会場	来場者数
10月22日	土	第29回コンチェルト定期演奏会① (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	273
10月25日	火	第20回学長賞声楽コンクール 本選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	約100
11月2日	木	教員・研究員研究発表② (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	159
11月10日	木	第26回作曲学科作品発表 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	44
11月12日	土	第29回コンチェルト定期演奏会② (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	413
11月20日	日	管弦楽団第41回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	620
11月23日	水祝	第13回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2022 (昭和・洗足)	ミューザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
11月29日	火	第4回推薦演奏会 (学内・出演関係者のみ)	ユリホール	94
12月1日	木	第20回電子オルガン定期演奏会	ユリホール	158
12月4日	日	吹奏楽団第36回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	607
12月10日	土	第47回メサイア	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	668
12月24日	土	短大バレエコース (1, 2年) 後期成果発表 (学内・出演関係者・講習会参加者のみ)	スタジオ・リリエ	76
12月24日	土	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演 「SEUSSICAL」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①643 ②486
2月5日	日	学部バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	553
2月12日	日	大学院修士課程修了オペラ公演 ①昼の部 ②夜の部	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①233 ②197
2月18日	土	大学院室内楽コンサート	ユリホール	60
2月19日	日	短大バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	503
2月26日	日	学部・短大ジャズコース／ポピュラー音楽コース卒業ライブ	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	536
3月18日	土	卒業演奏会 (管楽器・ピアノ)	ユリホール	183
3月19日	日	卒業演奏会 (①ジャズ、ポピュラー音楽、作曲、サウンドプロデュース、電子オルガン、ミュージカル / ②管・打楽器、声楽)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	①237 ②211
3月20日	月	卒業式奏楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	式典 関係者
3月25日	土	第11回音楽大学フェスティバル・オーケストラ (合同オーケストラ参加)	東京芸術劇場	外部主催
3月26日	日	第11回音楽大学フェスティバル・オーケストラ (合同オーケストラ参加)	ミューザ川崎 シンフォニーホール	外部主催
-	-	日豪文化交流事業 (ジャズ交流 WAYJO) リモート合奏	You Tube 公開	-

## (2)演奏会 (テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ)

2022年度実績

&lt;本学主催&gt;

月日	曜日	名称	会場	来場者数
5月26日	木	第1回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	60
6月16日	木	第2回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	93
7月9日	土	第25回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	415
10月13日	木	第3回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	62
10月22日	土	昭和音楽大学 第29回コンチェルト定期演奏会 (10月公演) (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	(273)
11月12日	土	昭和音楽大学 第29回コンチェルト定期演奏会 (11月公演) (協賛:伸和コントロールズ株式会社)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	(413)
12月15日	木	第4回学内発表会 (学内・出演関係者のみ)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	60
12月28日	水	第九演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	1,027
3月11日	土	第26回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ	782
8月9日	火	フェスタ・サマーミュージアKAWASAKI2022 (オンライン配信) 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・ オーケストラ	ミュージア川崎 シンフォニーホール	(外部主催)

&lt;外部主催公演&gt;

月日	曜日	名称	会場
4月22日	金	藤原歌劇団公演 オペラ《イル・カンピエッロ》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月23日	土	藤原歌劇団公演 オペラ《イル・カンピエッロ》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月24日	日	藤原歌劇団公演 オペラ《イル・カンピエッロ》	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月2日	火・祝	「ゴジラ」シネマコンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月14日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演ピーター・ライト版「ジゼル」全2幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月15日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演ピーター・ライト版「ジゼル」全2幕	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月31日	日	奥州市文化会館開館30周年記念事業オペラ公演《トスカ》	奥州市文化会館Zホール (岩手県)
9月4日	日	ハーモニーホール座間オペラ公演 オペラ《カヴァレリア・ ルスティカーナ》オペラ《修道女アンジェリカ》	ハーモニーホール座間
9月17日	土	文化庁「統括団体によるアートキャラバン事業 (コロナ禍 からの文化芸術活動の再興支援事業)」 藤原歌劇団オペラ《蝶々夫人》	長崎ブリックホール (長崎県)
9月23日	金・祝	スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	東京芸術劇場プレイハウス
9月24日	金・祝	スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	東京芸術劇場プレイハウス
10月2日	日	カルッツかわさき開館5周年記念オペラ・ガラ・コンサート	カルッツかわさき

月日	曜日	名称	会場
11月6日	日	藤沢市民オペラ2022-2024シーズン オペラ 《ラ・ボエーム》	藤沢市民会館
11月26日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演《くるみ割り人形》 全2幕（2回公演11：00開演・15：00開演）	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
11月27日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演《くるみ割り人形》 全2幕（1回公演14：00開演）	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月24日	土	文化庁「統括団体によるアートキャラバン事業 （コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）」 スターダンサーズ・バレエ団 バレエ《ドラゴンクエスト》	まつもと市民芸術館 （長野県）
1月7日	土	文化庁「統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍 からの文化芸術活動の再興支援事業）」 スターダンサーズ・バレエ団公演 ピーター・ライト版 《ジゼル》	iichiko総合文化セン ター（大分県）
1月22日	日	ニューイヤーコンサート 第11回ベートーヴェン交響曲第9 番「合唱付」	伊勢原市民文化会館 大ホール

## (3)生涯学習講座・提携事業

2022年度実績

&lt;本学主催&gt;

月日	曜日	名称	会場	受講者数
通年	土・日	ピアノ指導法講座〈オンライン講座〉	(オンライン)	100
7月24日	日	音楽療法講座 【目指そう！ウェルビーイング～音楽を活用した健康法】 第1回 調整的音楽療法―“悩み”に悩まされなくなるために―	南校舎C511	34
7月17日	日	大学オペラ公演プレ講座 第1回 「《フィガロの結婚》原作からオペラへ」	南校舎C511	41
9月10日	土	音楽療法導入講座 【音楽を通じたストレス対処法～心の健康とマインドフルネス】	南校舎C511	32
9月11日	日	教養講座 バッハのお話し～作品とその生涯～ I. 【その生涯とそれぞれの時代の】	南校舎C511	40
9月17日	土	教養講座 ロマン派音楽の世界～シューベルトとショパン～ 第1回 【シューベルト第1章】	南校舎C511	37
9月18日	日	大学オペラ公演プレ講座 第2回 「《フィガロの結婚》の楽しみ方」	南校舎C511	34
10月1日	土	教養講座 バッハのお話し～作品とその生涯～ II. 【フルートが関連する作品とその背景】	南校舎C511	42
10月15日	土	教養講座 ロマン派音楽の世界～シューベルトとショパン～ 第2回 【シューベルト第2章】	南校舎C511	35
10月27日	木	教養講座 バロック音楽講座①『フレンチ・バロック音楽の親しみ』 ～チェロや古楽器ヴィオラ・ダ・ガンバで聴く～	ユリホール	49
10月27日	木	教養講座 バロック講座②『J. S. バッハの無伴奏作品を深読み』 ～フレンチ・バロックとイタリアン・バロックの融合～	ユリホール	48
10月29日	土	教養講座 ロマン派音楽の世界～シューベルトとショパン～ 第3回 【ショパン第1章】	南校舎C511	40
11月20日	日	音楽療法講座 【目指そう！ウェルビーイング～音楽を活用した健康法】 第2回 すべての人の健康を支える音楽 ―障害のある人のための、そして認知症・介護予防のための音楽療法―	南校舎C511	31
12月3日	土	教養講座 ロマン派音楽の世界～シューベルトとショパン～ 第4回 【ショパン第2章】 ※演奏付き	南校舎C511	45
3月12日	日	音楽療法講座【目指そう！ウェルビーイング～音楽を活用した健康法】 第3回 歌ってウェルビーイング	南校舎C511	32
10月12日	水	令和4年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業・神奈川県マグカル展開 促進補助金対象事業 「実演舞台芸術の新たなビジネスモデルを構築する」	(オンライン 録画配信)	88
11月11日	金	～ポスト・コロナ時代のためのアートマネジメント人材育成～ 「実演舞台芸術のこれからの姿と社会実装」コースA [講座5回]	(オンライン 録画配信)	89
12月7日	水	(1) 「Music with You ～届けたい人に、届けたい場所で、届けるべき時に」 (2) 「実演舞台芸術におけるプロジェクトの活用」	(オンライン 録画配信)	133
12月13日	火	(3) 「ポスト・コロナ時代に向けて変容する劇場、そしてアート マネジメント」 (4) 「オンラインを活用した教育実践～海外教育機関との演奏交流」	(オンライン 録画配信)	62
1月23日	月	(5) 「実演舞台芸術におけるライブとヴァーチャルの融合」 (同時双方向型/録画配信型講座)	(オンライン 録画配信)	94

9月5日	月	令和4年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業・神奈川県マグカル展開促進補助金対象事業 「実演舞台芸術の新たなビジネスモデルを構築する」 ～ポスト・コロナ時代のためのアートマネジメント人材育成～ 「実演舞台芸術の制作過程を学ぶ」制作スタッフのための実地研修 コースB 【オペライントーン研修(制作補助)】 [対面型/全7回]	ユリホール	イン ター ン 4
9月9日	金		C101	
9月19日	月祝		C101	
10月1日	土		C101	
10月3日	月		テアトロ・ジューリオ・シウワ	
10月4日	火		テアトロ・ジューリオ・シウワ	
10月7日	金		テアトロ・ジューリオ・シウワ	
10月1日	土	令和4年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業・神奈川県マグカル展開促進補助金対象事業 「実演舞台芸術の新たなビジネスモデルを構築する」 ～ポスト・コロナ時代のためのアートマネジメント人材育成～ 「実演舞台芸術の制作過程を学ぶ」～制作スタッフのための見学研 修 コースC 【オペラ見学研修&ワークショップ】 [対面型/全3回]	テアトロ・ジューリオ・ シウワ	13
10月5日	水			
10月7日	金			

<共催>

月日	曜日	名称	会場
認定NPO法人かわさき市民アカデミー			
5月～7月	火	「ヴェリズモ・オペラの楽しみ方」 5/10・24, 6/14・21, 7/5・12	ユリホール
10月～12月	火	「フランス・オペラへの誘い」 10/18・25, 11/1・8・29, 1/17	ユリホール
株式会社 プレルーディオ			
通年	-	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会 (全4回) 7/7, 9/27, 12/12, 3/23	ユリホール
10月1日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.27	ユリホール
3月4日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート vol.28	ユリホール
3月22日	水	小田急ポイントカード×昭和音楽大学 Alla Carta Vol.1「眠りと音楽」	ユリホール

<提携事業>

新冠町提携事業 (新冠町/北海道)
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽団体演奏クリニック (対面開催/一部オンラインで実施)</li> <li>2. 新冠町&amp;昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート</li> </ol>

### 3. 研究所関係

#### (1) オペラ研究所

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

#### 【2022 年度研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員 (五十音順)

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

小畑 恒夫 昭和音楽大学客員教授

袴田 麻祐子 昭和音楽大学嘱託研究員

#### ●2022 年度活動内容

##### 1. 日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

##### 2. 『日本のオペラ年鑑 2021』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2021』を編纂・刊行した。本事業は平成8年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁委託事業「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として本学が受託した。

#### 【編纂委員 (五十音順、敬称略)】

石田 麻子：昭和音楽大学オペラ研究所所長・教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムディレクター (調査研究分野) [編纂委員長]

江藤 光紀：筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫：昭和音楽大学客員教授

関根 礼子：音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団 理事

堀内 修：音楽評論家

#### 【執筆者】

大田美佐子：神戸大学大学院准教授

### 3. オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 24～28 年度）により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

### 4. 特別講座「ロッシーニ・オペラ・フェスティバル～現在、過去、未来～」の開催

12 月 6 日（火）に、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルの関係者を招いた特別講座を、本研究所主催、声楽部会・舞台芸術政策研究所の協力により実施した。当日は 78 名の聴講者が参加したほか、ケーブルテレビ J:COM（ジェイコム）の取材を受け、石田所長が対応。講座の様子は 2023 年 1 月に J:COM のイベント紹介コーナー「WEEKLY トピックス」で放映された。

### 5. 新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書を今年度も更新した。

## (2) バレエ研究所

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。国内外におけるバレエ教育やバレエ界の状況等について調査・研究を行うことが目的である。

本年度はバレエ公演のデジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営、また日本バレエ団連盟文化庁委託事業「新進バレエダンサー・運営スタッフの育成、並びにバレエ団運営基盤整備および次世代の観客育成に向けた調査」等を行った。

### 【2022 年度研究員】

#### 所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部 教授

#### 研究員

岩部 純子 昭和音楽大学 専任講師

尾崎 瑠衣 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

勝川 史憲 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授

昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

杉本 亮子 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

村山 久美子 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

#### バレエ研究所アドヴァイザー（五十音順）

石井 清子 東京シティ・バレエ団 評議員

海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授  
舞踊評論家

## ●2022 年度活動内容

### 1. デジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営とデータ拡充

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（2015 年度～2019 年度）でバレエ研究所が構築した、日本におけるバレエ公演のデジタル・アーカイブ「バレエアーカイブ」の運営を継続して行った。

本年はサイト機能向上のために、データ出力機能や項目の追加、バグ修正等を行ったほか、データの拡充を行った。また「舞台デジタル・アーカイブ連携会議ワーキンググループ第 1 回委員会」並びに「第 3 回舞台デジタル・アーカイブ連携会議」において、尾崎瑠衣研究員が「バレエアーカイブ」について発表を行った。

開催日時	会議名称	発表内容
2022 年 9 月 23 日 18:00～20:00	「舞台デジタル・アーカイブ連携 会議ワーキンググループ第 1 回委 員会」	昭和音楽大学バレエ研究所「バ レエアーカイブ」について
2022 年 11 月 14 日 11:30～13:00	「第 3 回舞台デジタル・アーカイ ブ連携会議」	昭和音楽大学バレエ研究所「バ レエアーカイブ」について

### 2. 日本バレエ団連盟文化庁受託事業「新進バレエダンサー・運営スタッフの育成、並びにバレエ団運営基盤整備および次世代の観客育成に向けた調査」の再委託

バレエ研究所は日本バレエ団連盟より調査・研究等を委託され、令和 4 年 5 月から令和 5 年 3 月まで以下のプロジェクトを行った。

#### (1) 「海外実演団体運営状況調査」

海外のバレエ団や芸術団体がいかに社会情勢の変化や新型コロナウイルスをめぐる状況に対応しているのかについて調査を行った。海外メディアでの報道を基に 2,400 字程度のレポートを作成し、隔週で加盟団体に送信した。また本調査について年度末に報告書の執筆を行った。本調査はバレエ団運営の現場において活用されている。

#### (2) 「デジタル通じた次世代観客の育成」（バレエ公演情報のデジタル化）

日本におけるバレエ公演の状況調査・データ整備を行った。バレエ団の公演詳細をデータ化し、報告書を執筆した。加盟団体等から過去に開催されたバレエ公演プログラムの寄贈を受け、それをデータ化した。本年度は 231 件の公演をデータ化した。

#### (3) 「デジタルを通じた次世代観客の育成」（バレエ界のデジタル化推進に向けた検討・調査）

有識者やバレエ関係者らを迎えた会議を以下のとおり計 7 回開催し、バレエ界のデジタル化推進について議論を行った。出席者はデジタルテクノロジー専門家、バレエ団事務局スタッフ、舞台芸術デジタルプラットフォーム関係者、作品著作权保持者らである。

開催日時	議題
2022 年 11 月 22 日 14:00～16:00	・舞台芸術デジタル・アーカイブを取り巻く環境 ・各バレエ団の映像資料所蔵状況について

2022年12月2日 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレエの公演映像のデジタル化について</li> <li>・バレエ公演映像と舞台芸術デジタル・アーカイブプラットフォームについて</li> </ul>
2022年12月5日 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化における情報システムの現状</li> <li>・バレエ界におけるデジタル活用の可能性</li> </ul>
2022年12月7日 15:00～18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台芸術におけるデジタル利用について</li> <li>・他分野におけるデジタル事業の現状について</li> </ul>
2022年12月16日 11:00～13:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルにおけるコンテンツ作成とサイト評価について</li> <li>・他芸術文化計団体における映像のデジタル保存と利用について</li> </ul>
2023年1月13日 12:00～14:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレエ団制作スタッフからのデジタル・アーカイブやデジタル配信への見解</li> <li>・著作権保持者からの見たデジタル・アーカイブやデジタル配信</li> </ul>
2023年1月16日 16:00～18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台芸術デジタルプラットフォームを活用したバレエの観客育成・デジタル・アーカイブとバレエの今後</li> </ul>

#### (4) 「全国バレエ教室のデータ整備」

将来的なバレエ教室とバレエ団の連携、また効率的なバレエダンサー育成を目的として、日本におけるバレエ教室の実態把握を行った。本年は東日本の1都1道15県の計2739件のバレエ教室を対象として調査を行い、データ整備を行った。またその成果について報告書に執筆した。

#### (5) 「運営スタッフ育成のための調査・資料作成」

バレエ界を産業として俯瞰するため、バレエ研究所で調査を行い、A4全20ページの資料を制作した。本資料は関係各所に配付されたほか、日本バレエ団連盟ウェブサイトでも公開された。本資料はバレエ団運営スタッフによってファンドレイジングの現場等で活用される予定である。

### (3) 舞台芸術政策研究所

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成25年1月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

#### 【2022年度研究員】

所長

石田 麻子      昭和音楽大学教授

研究員

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授  
酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授  
吉原 潤 昭和音楽大学准教授  
岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授  
菫澤 弘志 昭和音楽大学客員教授  
赤木 舞 昭和音楽大学非常勤講師  
岡沢 亮 (独) 日本芸術文化振興会 研究員

●2022 年度活動内容

1. FACP2022 大会 (中止)

期日：2022 年 9 月 22 日 (木) ～9 月 24 日 (土)

会場：韓国・大邱 (テグ) 市

コロナ感染症下、参加者の目途がたたず、大会としては開催せず主要関係者だけの会議を持った。日本からは FACP 日本の会長、理事の各 1 名が出席した。

2. 日本音楽芸術マネジメント学会の運営

(1) 第 14 回夏の研究会 (※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約 80 名)

《アフターコロナ～新たな「つながり」を見据えて～》

日程：2022 年 9 月 4 日 (日) 13:00～16:30

会場：昭和音楽大学南校舎 A214／オンライン同時配信あり

第一部 シンポジウム『『劇場圏』とは何か』

登壇者 江藤 光紀 筑波大学人文社会系准教授

辻 英史 法政大学人間環境学部教授

城多 努 広島市立大学国際学部准教授／JaSMAM 会員

モデレーター 石田 麻子 昭和音楽大学 教授・学長補佐／JaSMAM 理事

第二部 パネルディスカッション「芸術文化の統括団体の役割を考える～コロナ禍を経て～」

登壇者 岸 正人 (公社) 全国公立文化施設協会専務理事兼事務局長

丹羽 徹 (一社) 日本クラシック音楽事業協会常任理事・事務局長／JaSMAM 理事

米屋 尚子 文化政策・芸術運営アドバイザー／芸術コーディネーター／EPAD 事務局／JaSMAM 理事

モデレーター 堀田 栄作 (公社) 関西二期会事務局長／JaSMAM 理事

(2) 第 15 回春の研究大会 (※登壇者の肩書は当時のもの／参加者約 80 名)

日時：2023 年 3 月 26 日 (日) 9:00～18:00

会場：武蔵野音楽大学江古田キャンパス

9:30 ～16:00 研究発表 12 本、現場レポート 2 本、ラウンドテーブル 1 本

16:30～18:00 シンポジウム《ポストコロナの日本クラシック音楽界を考える》

モデレーター 中川 俊宏 武蔵野音楽大学教授・アートマネジメントコース長 /JaSMAM 副理事長

第一部 基調講演「文化芸術推進基本計画(第 2 期)を踏まえた今後の政策について」

講演 表 尚志 内閣官房文化経済戦略特別チーム内閣審議官

講演に基づくディスカッション 表 尚志

菫澤 弘志 昭和音楽大学客員教授 /JaSMAM 理事

## 第二部 事例報告

「国際コンクール運営にみる、世界と地域を視座とした文化芸術の展開」  
講演 河井 拓 日本室内楽振興財団・大阪国際室内楽コンクール&フェスタ総合  
プロデューサー / ピアノ三重奏団 葵トリオ マネージャー  
報告に基づくディスカッション

### (3) 学会誌・会報の発刊

学会の刊行物の編集作業を担い、学会誌『音楽芸術マネジメント第14号』を3月に、学会会報28号・29号を7月・2月に刊行した。

### 3. 特別講座「ロッシーニ・オペラ・フェスティバル～現在、過去、未来～」への協力【

本学オペラ研究所が主催して12月6日（火）に実施した、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルの関係者を招いた特別講座の制作・運営に協力した。

## (4) 歌曲研究所

昭和音楽大学歌曲研究所は、歌曲資料の収集及び演奏法の研究を目的とする。

### 【2022年度研究員】

所長

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

研究員

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

酒巻 和子 昭和音楽大学教授、音楽研究科長

中村 佳子 昭和音楽大学短期大学部教授

的場 辰朗 昭和音楽大学教授、音楽学部長

柴山 昌宣 昭和音楽大学教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

廣田 美穂 昭和音楽大学短期大学部准教授

藤原 海考 昭和音楽大学短期大学部准教授

## ●2022年度活動内容

### 1. 歌曲研究会

#### (1) イタリア語唱法研究部会研究会

2月～3月の開催を検討していたが、学事日程と講師の予定が合わず断念した。

2023年度に「バロックの宗教音楽」をテーマに開催を予定している。

#### (2) 日本語唱法研究部会

「心から言葉へ～山田耕筰の魅力」

日時：2023年3月13日（月）14:00～16:00

場所：C511 教室

講師：塚田佳男（伴奏ピアニスト/外部講師）

歌 唱：学部4年1名、修士課程1年3名

ピアノ：酒井愛可

内 容：山田耕筰等日本歌曲集掲載の名歌における曲の背景のレクチャー、詩の解説や伴奏について

※講義に加えて、公開レッスンをを行う。歌唱は、本学大学院生が行う。

(公開レッスン)「かやの木山の」 テノール 学部4年

「六騎」 テノール修士1年

「からたちの花」 ソプラノ修士1年

「バラの花に心を込めて」 修士1年

## 2. 高校生のためのコンクール

平成12年度から実行委員会形式で開催してきた高校生のための歌曲コンクールは、平成15年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。

当該コンクールは、昨年度「声楽部門」に新たに「ミュージカル部門」を加えて2部門にて開催したが、今年度は、新たにミュージカルのコンクールを立ち上げた。2022年度は、「第23回高校生のための歌曲コンクール」「第1回高校生のためのミュージカル歌唱コンクール」2つのコンクールを開催した。

### (1)過去の参加者数（高校生のための歌曲コンクール）

平成12年度（第1回） 198名、平成13年度（第2回） 249名

平成14年度（第3回） 259名、平成15年度（第4回） 258名

平成16年度（第5回） 248名、平成17年度（第6回） 258名

平成18年度（第7回） 240名、平成19年度（第8回） 199名

平成20年度（第9回） 172名、平成21年度（第10回） 179名

平成22年度（第11回） 151名、平成23年度（第12回） 203名

平成24年度（第13回） 231名、平成25年度（第14回） 224名

平成26年度（第15回） 193名、平成27年度（第16回） 174名

平成28年度（第17回） 189名、平成29年度（第18回） 204名

平成30年度（第19回） 205名、令和元年度（第20回） 216名

令和2年度（第21回） 127名、令和3年度（第22回） 178名

(声楽127名/ミュージカル51名)

### (2)令和4年度（第23回）実施概要

#### ・第23回高校生のための歌曲コンクール

##### ①予選《対面審査》

日 程：2022年5月8日（日）～5月29日（日）

方 法：予選審査曲（イタリア歌曲1曲）

会 場：仙台・新百合ヶ丘・名古屋・岡山・福岡の5会場

参 加：91名 ※応募97名 辞退6名

審査員：声楽の本学教員

②本選《対面審査》

日 程：2022年8月20日（土）

審 査：イタリア歌曲・日本歌曲より任意の歌曲計2曲による審査

会 場：テアトロ・ジーリオ・ショウワ

参加者：37名

審査員：五十嵐麻利江 井ノ上了吏 大森智子 小田桐貴樹 川越塔子 柴山昌宣  
中村佳子 廣田美穂 藤原海考 的場辰朗 望月光貴（五十音順・敬称略）

表 彰：優秀賞5名／奨励賞15名

・第1回高校生のためのミュージカル歌唱コンクール

①予選《ビデオ審査》

日 程：2022年7月26日（火）

方 法：自由曲1曲を歌唱する場面を収録したビデオによる審査

会 場：南校舎 A311・A316 教室 （ビデオ審査）

応 募：47名

審査員：ミュージカルヴォーカルの本学教員

②本選 《対面審査》

日 程：2022年8月21日（日）

審 査：自由曲・課題曲の計2曲（以下のミュージカル作品の中から任意の1曲）

（課題曲）回転木馬、キス・ミー・ケイト、南太平洋、ガイズ&ドールズ、マイ・フェア・レディ、ウェスト・サイド物語、ラ・マンチャの男、ザ・ミュージック・マン、サウンド・オブ・ミュージック、ファンタスティック、ハロー・ドーリー、屋根の上のヴァイオリン弾き

会 場：テアトロ・ジーリオ・ショウワ

参加者：17名

審査員：赤星 啓子 井上智恵 高田正人 高野二郎 萩原かおり 秦貴美子  
（五十音順・敬称略）

表 彰：優秀賞4名／奨励賞4名

## (5)アートマネジメント研究所

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の2つの部門で活動している。

### 【2022年度研究員】

所長

古橋 祐 昭和音楽大学教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

吉原 潤 昭和音楽大学准教授

岸田 生郎	昭和音楽大学客員教授
武濤 京子	昭和音楽大学客員教授
菫澤 弘志	昭和音楽大学客員教授
森川 卓夫	昭和音楽大学客員教授
布目 藍人	昭和音楽大学非常勤講師

## ●2022 年度活動内容

### 1. アートマネジメント研究部会

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究発表・研究会を行っている。2022 年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No. 16」を発行した。今年度は、前年度、新型コロナの勢いが収まらない中、オンライン（Zoom）で開催した研究会（2022 年 3 月 17 日）に続き、その続編を対面とオンラインの同時開催にて開催した。

また、昨年度に引き続き、博士課程の学生による研究発表も行われた。

#### (1) 研究発表・研究会の実施

研究会：対面（C511 教室）及びオンラインの同時開催

・令和 4 年 5 月 18 日（水）

「2020 年→2022 年 コロナ禍で何が起きたのか」～事業運営の視点からみる、これまでとこれから」Vol. 2 実演団体・制作団体編 参加者数：80 名

研究発表：

・令和 4 年 9 月 14 日（水）

「昭和女子大学人見記念講堂改修計画」

・令和 4 年 11 月 16 日（水）

「新百合ヶ丘における芸術文化活動に関する研究 インターネットアンケート調査より」

・令和 5 年 1 月 11 日（水）

「中国のオーケストラに対する公的支援の理論的由来 ～役割理論に基づいた分析を通して～」

「日本における外来伝統楽器のマネジメントについて ～改革開放から 2000 年まで二胡の普及状況を例として」

・令和 5 年 2 月 21 日（火）

「中国のオーケストラに対する公的支援の理論的由来 ～役割理論に基づいた分析を通して-2」

#### (2) 「音楽芸術運営研究 No. 16」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No. 16」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配布した。

#### (3) 受託研究

「一般財団法人川崎新都心まちづくり財団」の研究調査事業の一環として「新百合ヶ丘のまちづくりに対する文化・芸術の貢献の研究」を日本映画大学と共同受託し、2022 年 6 月に最終報告書を提出した。

## 2. コミュニケーションセンター

昭和音楽大学コミュニケーションセンター（SCC）は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成18年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）に選定され、平成20年度より正規授業としてカリキュラム化され（科目名「音楽活動研究①、②、③、④」）、平成23年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCCでは、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

### (1) 「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究①②」の授業の全般的運営
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施（下記(4)に記載）

### (2) 演奏指導活動派遣（活動数：演奏活動6事業7回、教育指導活動1事業2回）

- ・川崎市内小学校2校3回 麻生養護学校（打楽器アンサンブル）  
王禅寺中央小学校（計2回 木管五重奏、金管五重奏）
- ・川崎市教育委員会事業 1事業2回（下記(3)に記載）
- ・麻生区役所こども関連大学連携事業 1事業（下記(4)に記載）
- ・麻生老人福祉センター事業 1事業（弦楽四重奏、女声合唱）
- ・神奈川県民ホールオープンシアター事業 1事業（木管五重奏、金管五重奏）
- ・川崎市北部身体障害者福祉会館視覚障がい者交流会コンサート 1事業（声楽）

### (3) 川崎市教育委員会事業：1事業

- ・「2022年度ジュニア音楽リーダー育成事業」 吹奏楽指導  
日 時： 令和4年6月12日（日）、6月19日（日）  
会 場： 昭和音楽大学 南校舎 教室 等

### (4) 麻生区役所 地域みまもり支援センターとの連携事業：1事業

- ・「音楽の贈り物～サンタと一緒に音楽であそぼう！～」  
日 時： 令和4年12月3日（土）15:00～17:00  
場 所： 昭和音楽大学 南校舎1階 C101 スタジオブリオ、他

### (5) 広報活動：専用ホームページ、ブログの運用 他

## (6) 音楽療法研究所

音楽療法研究所は、音楽療法に関する領域の研究および関連分野の研究を目的とする。

音楽療法研究所は、年間テーマは昨年度から引き続き、「新しい生活様式を踏まえた音楽療法」とし、講師を招いて研究会を開催した。

音楽療法ディベロップメントの人材開発事業としては、卒業年次の異なる卒業生を招いてシンポジウムを開催した。さらに、音楽療法アーカイブ事業では、研究会講師にインタビューをおこなった。教材開発事業として、学生が音楽療法活動のために作曲した曲集作成に向け、楽譜を収集した。

また、研究所紀要として2011年度から発行してきた「音楽療法研究」は、2022年度において第12号となった。

## 【2022年度研究員】

### 所長

羽石 英里 昭和音楽大学教授

### 研究員

萩原 かおり 昭和音楽大学教授

二俣 泉 昭和音楽大学教授／日本音楽療法学会副理事長

白川 ゆう子 昭和音楽大学専任講師

伊藤 啓子 昭和音楽大学客員教授

青木 久美 昭和音楽大学非常勤講師

今村 ゆかり 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学非常勤講師

大山 祥子 昭和音楽大学非常勤講師

杵鞭 広美 桐朋学園大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

小柳 玲子 昭和音楽大学非常勤講師

田原 ゆみ 昭和音楽大学非常勤講師

深野 広美 昭和音楽大学非常勤講師

三浦 優佳 昭和音楽大学非常勤講師

### アドヴァイザー

松井 紀和 昭和音楽大学客員教授／日本臨床心理研究所所長／精神科医師

村林 信行 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学客員教授／精神科医師

## ●2022年度活動内容

2022年度は、以下の1.～3.にわたる事業をおこなった。

### 1. 研究所主催研究会の開催

2022年度のテーマを「音楽療法と研究法」とし、次の通り、2回研究会を実施した。

#### (1) 研究会 1

講 師：田原ゆみ氏（本学非常勤講師／日本音楽療法学会認定音楽療法士）

日時会場：2022年12月22日（木）10:40～12:10 A214 教室

対 象：音楽療法研究所研究員、音楽療法コース学部生、修士学生

テ ー マ：研究法は誰のもの？

ーグラウンデッド・セオリーの例から研究者の責任と倫理について考える

#### (2) 研究会 2

講 師：大月友氏（公認心理士、早稲田大学人間科学学術院准教授）

日時会場：2023年2月10日（金）13:00～16:00 A411 教室、Zoom 併用

対 象：音楽療法研究所研究員、全学生、全教職員

テ ー マ：しなやかな心で生きるための工夫ー新しい心理療法「ACT」から学ぶ

### 2. 音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

2022年度で発行12年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した他、後述の音楽療法ディベロップメントのキャリア支援講座で実施した、卒業生によるシンポジウ

ムの逐語録を掲載した。

### 3. 「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

#### (1) 人材開発 キャリア支援講座

##### ① シンポジウム 1

日 時：2022年5月28日（土）14:00-16:30 会場：A214 教室

テーマ：「音楽・マインドフルネス・健康サービス」

##### 【Ⅰ部】「マインドフルネスとウェルネスー原理・応用・発展ー

- ・話題提供①心理臨床におけるマインドフルネスと音楽療法への応用：二俣泉教授
- ・話題提供②音楽とマインドフルネスによるウェルネス：

吉田真太氏（ラッセル・マインドフルネス・エンターテインメント株式会社）

##### 【Ⅱ部】「新しい産業としての『音楽ウェルネス』

- ・パネリスト：羽石英里（本学教授）

二俣泉（本学教授）

吉田真太氏（ラッセル・マインドフルネス・エンターテインメント株式会社）

- ・司会：白川ゆう子（本学専任講師）

##### ② シンポジウム 2

- ・パネリスト：木村仁美氏（博士後期課程1年）、鈴木裕也氏（博士後期課程1年）

- ・司会指定討論者：伊藤啓子氏（本学客員教授）

- ・日時・会場：2023年3月8日（水）13:00～14:30 A311 教室

- ・対象：音楽療法研究所研究員、音楽療法コース学部生、修士学生

- ・テーマ：これからの音楽療法を考える

##### ③ 音楽療法コース4年生と大学院修士課程2年生のうち日本音楽療法学会認定音楽療法

士（補）資格試験および日本音楽療法学会認定音楽療法士資格試験（実技・面接）を受験する学生をメインの対象とした対策講座をおこなった。

#### (2) 教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲（歴代のもの）曲集としてまとめて形に残すことを目的とし、昨年度に引き続き作業をおこなった。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化（楽譜作成）をおこなった。また、本年度は実習を含め、様々な形で「新しい生活様式を踏まえた」オンラインでの音楽療法臨床をおこなったため、その記録VTRやノウハウを新たに蓄積した。

#### (3) 音楽療法アーカイブ

音楽療法のパイオニアにインタビューなどをおこない、貴重な証言や資料の収集・保管を行った。

- ・インタビュイー：伊藤啓子（本学客員教授、日本音楽療法学会認定音楽療法士）

- ・日時会場：2023年3月8日（水）15:30～18:00 C313 教室

- ・インタビュアー：二俣泉、白川ゆう子、木村仁美

## (7) 音楽教育研究所

研究所は、幼児教育（導入期）から大学等における音楽専門教育及び関連領域について、特に鍵盤楽器及びソルフェージュに関し国際的視野に立って調査研究することを目的とする。

### 【2022 年度研究員】

所長

江口 文子 昭和音楽大学教授

研究員

石田 麻子 昭和音楽大学教授

川染 雅嗣 昭和音楽大学教授

鈴木 二美枝 昭和音楽大学短期大学部教授

飯田 佐恵 昭和音楽大学准教授

石川 亮子 昭和音楽大学准教授

豊住 竜志 昭和音楽大学准教授

林田 枝実 昭和音楽大学教授

森 篤史 昭和音楽大学短期大学部専任講師

奥村 晃博 昭和音楽大学客員教授

岸田 生郎 昭和音楽大学客員教授

林 眞砂子 昭和音楽大学非常勤講師

益田 トッシュ 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学非常勤講師

角南 篤 昭和音楽大学音楽教育研究所特別研究員

### ●2022 年度の実施内容

#### 1. 推薦音楽会

附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。令和4年度に関しては2月23日に開催、オーディションに参加した53名のうち、38名が出演した。

#### 2. 特別レッスン

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校2年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により特別レッスンを受講した。

主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニクの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように大学生に還元していくのかを検討している。

令和4年度における受講者は16名（ピアノ12名、ヴァイオリン3名、クラリネット1名）であった。

### 3. プラスワン講座

附属音楽・バレエ教室で開催するピアノのグレード制度「ステップアップ」の審査に付してミニ講座・ミニコンサートを実施している。さまざまなテーマを用いて音楽を幅広い年齢層のピアノ学習者に多角的に伝えることを研究課題としており、令和4年度は9月10日に開催した。

## (8) ピリオド音楽研究所

ピリオド音楽研究所は、ピリオド音楽およびピリオド演奏の研究を目的とする。

### 【2022年度研究員】

所長

有田 栄 昭和音楽大学教授

研究員

築瀬 進 昭和音楽大学・短期大学部 学長

藤田 真頼 昭和音楽大学准教授

森田 学 昭和音楽大学准教授

黒田 隆 昭和音楽大学客員教授

満江 菜穂子 昭和音楽大学非常勤講師

宮村 和宏 昭和音楽大学非常勤講師

菊池 奏絵 昭和音楽大学非常勤講師

島根 朋史 昭和音楽大学非常勤講師

上杉 清仁 昭和音楽大学非常勤講師

### ●2022年度実績

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1回のみで開催となった。

#### 1. 第28回公開講座 (2022年10月15日(土)17:00)

『演奏家が語る《メサイア》—第47回メサイア公演に向けて—』

内容：本学の伝統ある「メサイア公演」に向けての特別講座。時代を超えて人々に親しまれてきた名曲《メサイア》には様々な「顔」があり、ヘンデルのオリジナル稿だけでなく、オーケストレーションが全く異なるモーツァルトやワーグナーの編曲稿も存在する。同時代の楽器や演奏習慣によるピリオド・スタイルの演奏で聴く刺激的な響き、モダンなオーケストラによる華やかな響きなど、経験豊かな演奏家がそれぞれの視点で発表し、《メサイア》を多角的に考察した。

(1) 本学における《メサイア》演奏史

(2) 楽器から見る《メサイア》の音風景

(3) 声楽から見る《メサイア》の魅力

(4) 演奏家から見た《メサイア》のツボ

講師：有田栄（進行）、藤田真頼、森田学、黒田隆、満江菜穂子、菊池奏絵、島根朋史

(以上、ピリオド音楽研究所研究員)

会場：ラ・サーラ・スカラ

## 4. 附属教室関係

### (1) 附属音楽・バレエ教室

幼児（2歳）から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を展開している。教室は新百合ヶ丘校（大学内）、小田原校、センター北校、本厚木校（2023年5月より海老名校）、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校の8校。2023年3月時点において約3,500名が在籍している。

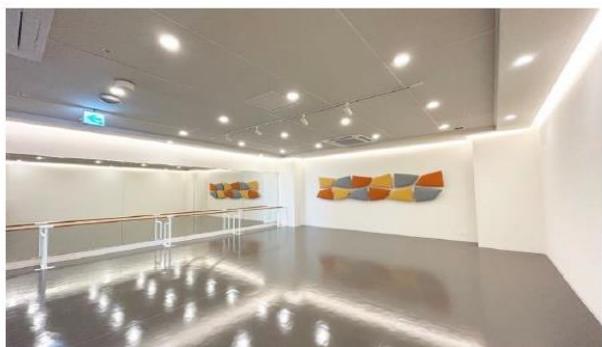
音楽の各分野では、幼児音楽教育やソルフェージュ、実技個人レッスン（ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲、ポピュラー音楽、ジャズピアノ等）をはじめ、鍵盤楽器他のアンサンブル（文化箏、二胡、ウクレレ、ギター、弦楽）や連弾、大人を対象にしたグループヴォーカル（ヴォーカルトレーニング、ウェイクアップヴォーカル、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、爽快ベルカント、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、日本語で歌おう世界の名曲、楽しくオペラを歌おう、歌声サロン、発声から始める歌謡曲）を開講しており、舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ミュージカルヴォーカル、ジャズダンス、キッズダンス等を開講している。

また、教養講座としてイタリア語コースや朗読サロンコース、音楽療法分野として、支援が必要な方のための音楽コースを開講している。令和5（2023）年度には、新たにドイツリートのクラスを開講予定であるとともに、JR線・小田急線・相鉄線「海老名」駅より徒歩一分の立地にある「海老名 VINA GARDENS PERCH」に海老名校を開校する。

**昭和音楽大学附属音楽・バレエ教室 海老名校**（2023年4月28日竣工、5月8日開校）

〒243-0438 海老名市めぐみ町 3 1 VINA GARDENS PERCH 5F

（JR線・小田急線・相鉄線「海老名」駅より徒歩1分）



・レッスン室(GP) 6 部屋 ・レッスン室(UP)1 部屋 ・サロンスタジオ(Steinway)1 部屋 計 8 部屋

## (2) 附属ピアノアートアカデミー

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。2022年度時点では小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・同短期大学部において学修機会を得たい学生の増加やその質の向上に寄与している。

2022年度においては、2022年5月、第12ダブリン国際ピアノコンクール（アイルランド）で黒木雪音が第1位（日本人初）、古海行子が第2位（日本人初）を受賞する快挙。9月、黒木雪音がリストユトレヒト2022（オランダ）で第1位、2023年1月、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA プロフェッショナル部門では吉原佳奈が金賞及びNIFC（ポーランド国立ショパン研究所）賞を受賞、3月、黒木雪音が第17回アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール（イスラエル）で第3位及び古典派協奏曲賞を受賞等、国際コンクールでの実績も多く充実した活動を行うことが出来た。在籍生による国内各地でのコンサート、また海外でのコンサートツアー、メディア出演も多く、国内外から注目された。

### ●2022年度の主な活動内容

#### 1. 特別演奏コース：

定期的に個人レッスン、ソルフェージュクラス、海外講師による対面及びオンラインでのレッスンを実施した。

#### 2. 総合コース：

月1回のレッスンやクラス授業を実施した。小学生～高校生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養を養うためのクラスのほか、3月には成果発表会も開催した。

#### 3. 研究コース：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援を行った。

#### 4. プロフェッショナル・ミュージック・アカデミー：

2022年8月25日～27日、3日間の集中型のピアノとアンサンブルのマスタークラスを開催。ピアノのマスタークラスに加え、ユリホールで室内楽のマスタークラスや選抜演奏会を実施。全国各地から小学生からピアニストの受講生が参加した。

#### 5. プレビュー・アカデミー：

2022年12月25日～26日の2日間、小学2年生～高校2年生を対象に開催。ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶ音楽講座、成果発表の場として学内のユリホールでの成果発表コンサートを実施。全国各地から受講生が来場した。

#### 6. 2022年度における在籍者のコンサート出演：

国内及び海外での公演などコンサートへの出演は30回を超えている。主な内容は次の通り。

##### (1) 2022年

- 4/2 兵庫芸術文化センター管弦楽団 特別演奏会 PAC 春休みワクワクオーケストラ・コンサート@兵庫芸術センター
- 4/6 有料老人介護施設 サンシティ吉祥寺コンサート

- 4/9 若きアーティストたちの響演@ユリホール
- 4/16 古海行子ピアノ・リサイタル@佐川文庫
- 4/19 ランチタイムコンサート@飯野ビルディング
- 5/3 丸の内ミュージックフェス エリアコンサート@東京 TOKIA
- 5/20 アフタヌーンコンサート 水谷桃子～ピアノ～@東大阪市文化創造館
- 5/31 日本ショパン協会 ショパンフェスティバル in 表参道 古海行子ピアノリサイタル @カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」
- 6/3 日本ショパン協会 ショパンフェスティバル in 表参道 田久保萌夏ランチタイムコンサート@カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」
- 6/30 イクス・アンサンブル第4回公演@東京オペラシティリサイタルホール
- 7/20 ヴィオラの声、アルトの歌@真駒内六花亭ホール
- 8/6 フェスタサマーミュージザ KAWASAKI2022 出張ミュージザ@しんゆり！神奈川フィルハーモニー管弦楽団太田弦指揮@テアトロ・ジューリオ・ショウワ
- 8/20 ショパン生家（ポーランド・ジェラズヴァヴォラ）でのピアノリサイタル
- 9/2 日本パデレフスキ協会ピアノコンサート
- 10/20 Best Requests Classics Vol.1 ショパン・コンサート・プレビュー 古海行子サロンコンサート@カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」
- 10/25 Best Requests Classics Vol.1 ショパン・コンサート@東京芸術劇場コンサートホール
- 11/19 古海行子ピアノリサイタル@海老名文化会館
- 11/20 昭和音楽大学管弦楽団 第41回定期コンサート@テアトロ・ジューリオ・ショウワ
- 11/27 NHK ベストオブクラシック（公開収録）ピアノ&トリオ・コンサート@愛媛県新居浜市市民文化センター大ホール
- 12/17 古海行子ピアノリサイタル@浜離宮朝日ホール
- 12/31 MUZA ジルバスターコンサート2022 東京交響楽団 秋山和慶指揮@ミュージザ川崎

(2)2023年

- 1/20 横浜シンフォニエッタ 山田和樹指揮@ふくしん夢の音楽堂
- 1/29 古海行子ピアノリサイタル@源内音楽ホール
- 2/1 若手ピアニストによるジョイントコンサート@ヤマハホール
- 2/11～18 黒木雪音ヨーロッパ・ツアー（オランダ、イタリア、ノルウェー、ドイツ）
- 2/27 ヤマカズフレンズ Vol.1.5@山形テルサホール
- 3/7 しんうらやす おとマルシェ Vol.18 古海行子@浦安音楽ホール
- 3/10 テアトロ・ジューリオ・ショウワ第26回定期演奏会@テアトロ・ジューリオ・ショウワ

7. 2022年度における在籍生のメディア出演：主な内容は次の通り。

(1)2022年

- 4/3 NHK-FM リサイタル・パッション
- 7/30 テレビ朝日 題名のない音楽会「前奏じゃないのに「前奏曲」の音楽会」

(2)2023年

- 1/6 NHK-FM ベストオブクラシック
- 1/15 NHK Eテレ「クラシック音楽館 新・日本のピアノ」
- 1/31 NHK-BSP クラシック倶楽部
- 2/28 NHK-BS4K クラシック倶楽部
- 3/11 テレビ神奈川「LOVE かわさき」

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2022年度進捗報告

2022年3月末時点の進捗状況を確認いたしましたので以下報告いたします。  
 アクションプラン(以下、AP)全30件の2021年度末時点の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったAP14件は計画の変更案を作成、これに基づき2022年度は取り組みました。  
 2022年度目標を達成したAPは25件、未達のAPは4件です。  
 なお一部のAPについては、見直しの結果、本年度より複数のAPを1つに統合し取り組んでおります。  
 ▽各アクションプランのゴールを100%とした場合

具体的な取り組み事業	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2020	2021	2022	2023	2024	2022年度 進捗	2022年度 目標	2022年度進捗
プロジェクト① 教育の質の向上										
A 教育課程の改革										
1	カリキュラムの見直し	文理融合科目、STEAM科目、創造性を育成する教育、データサイエンス教育の導入						50%	達成	・第2期作業部会メンバーに新たに教員3名を選出した。 ・全学生を対象とした特別講座を年5回実施。外部専門家との意見交換等を行った。 ・授業化、科目新設について議論を行いシラバスの作成を行った。
2	アカデミックカレンダーの見直し	アカデミックカレンダーの見直し						100%	達成	・プロジェクトチームにおいて、学期制の導入イメージ、導入するための課題の洗い出しをした結果、導入は可能であり、導入すべきであるとの結論に至った。また、2025年度の運用開始を見据えた2024年度までの日程を立てた。以上のことから、本アクションプランの目的は達成できたものと考え、アクションプランとしての取り組みは終了とした。 ・2022年9月より、中長期計画2020-2024から新体制(学長諮問委員会下部組織=セメスター移行WG)へ移行した。
B 教育手法の改善										
3	ICT教育の推進	Society 5.0時代の音楽、舞台芸術のための教育・研究環境づくり	①A/B/C棟の1F～6Fに必要な設備備品の設置					100%	達成	・2023年3月時点で、対象の教室にAV機器を設置を完了した。本アクションプランのゴールを達成した。
4	アクティブラーニングの推進		②電子媒体教材(コンテンツ)の充実と発展					60%	達成	・継続してコンテンツを開発中。また、2023年度には予算化し開発を行うこととした。
5	オンライン学修の推進		③ICTとオンライン教育、アクティブラーニングに活かす授業の一部をカリキュラム化					60%	達成	・ICT機器の利用状況のアンケートの結果を元に、2023年度のカリキュラムを検討することとした。
C 学修支援の強化										
6	学生支援センターの設置	学生支援センターの設置						100%	達成	・2023年4月より学生支援に関わる組織を統合し発足。本アクションプランのゴールを達成した。
7	練習室の活用	練習室の活用						70%	達成	(本アクションプランは、2022年度の計画として、練習室以外の施設に関する見直しを記載) ・南校舎の練習室以外の施設についての効率化については、現行運用ルールを踏襲することとした。その他、練習室以外の施設貸出の時間延長、休日の使用拡大を行った結果、学生の使用頻度が高まった。
8 ～ 10	施設設備の充実・練習室の活用	施設設備の充実						30%	未達	(本アクションプランは見直しの結果、本年度より複数のアクションを一つに統合) 校舎全体の改修についてコンサルタントを予定していたが、調査手法の認識の相違から契約に至らず。 計画を変更して、南校舎の修繕、南校舎図書館及びロビーの改修、北校舎2階・3階のリニューアルを行う計画概要を23年度中に作成することとする。
D キャリア教育の充実										
11	キャリア教育の充実	キャリア教育の充実						87%	達成	・キャリア科目の見直しを行った。「キャリアデザイン」では、音楽業界の現状や国内外の事情について理解し、多方面で活躍できる人材の育成を目指すことができた。「フィールドインターンシップ」については説明内容を変えて間口を広げていくこととした。 ・今の学修を活かし、どう活用していくか キャリア委員が共に学修の意味を考え、将来のビジョンを描く講座(例:iDeCoやNISAの知識提供を行ない、将来のビジョンを描く講座等)を新たに開催した。 ・外部による留学の基礎知識、コロナ禍の状況下での各国の近況情報、海外の社会情勢を基にした留学情報の提供を行なった。
プロジェクト② 成長戦略の推進										
A 学生募集の強化										
12	学生募集の強化	学生募集専用システムの導入、入試制度の見直し、学生募集イベントの充実	①学生募集専用システムの導入					100%	達成	・システムを導入、データ移行も完了することができたが、稼働時期がずれたことにより前期からの本格稼働はできていない。改めて他の業者のシステムとの比較をしながら12月から2月に検証し、2023年3月から本格稼働となった。本アクションプランのゴールを達成した。
13			②入試制度の見直し					60%	達成	・英語の評価を可視化し入試要項に掲載するだけでなく、一般選抜の一般科目に小論文を加え、評価の観点等を明示し、受験生の選択の幅を持たせることができた。また、この取り組みにより改革総合支援事業の要件にも適合することとなった。
14			③学生募集イベントの充実					70%	達成	・ポピュラー音楽コースの改称(大学/短大「ポップ&ロックミュージック」と大学院にジャズ系コース「ジャズ&コンテンポラリーミュージック」新設に伴い、軽音楽部を対象としたイベントを実施(内容:高校生対象のバンドクリニック、合同ライブ)し、同コースの受験生増につながった。新たな学生募集イベントの運用を引き続き検討することとした。

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2022年度進捗報告

2022年3月末時点の進捗状況を確認をいたしましたので以下報告いたします。  
 アクションプラン(以下、AP)全30件の2021年度末時点の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったAP14件は計画の変更案を作成、これに基づき2022年度は取り組みました。  
 2022年度目標を達成したAPは25件、未達のAPは4件です。  
 なお一部のAPについては、見直しの結果、本年度より複数のAPを1つに統合し取り組んでおります。  
 ▽各アクションプランのゴールを100%とした場合

具体的な取り組み事業		行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2020	2021	2022	2023	2024	2022年度 進捗	2022年度 目標	2022年度進捗
B 社会連携、大学間連携の推進											
15	社会連携、大学間連携の推進	社会連携、大学間連携の推進							80%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽とこころの発達相談室「ムジカ・バンビーノ」開設した。麻生区後援事業申請し、採択された。</li> <li>改革総合支援事業タイプ3(地域連携型)の各要件に積極的に取り組んだ(前年度の得点より10点アップ)。</li> <li>地域連携推進プロジェクトを立ち上げた。教職員一体となり大所高所の観点から現取組の見直しと新規活動について協議を行った。</li> <li>学生の学修成果発表の機会である、吹奏楽特別演奏会を子育て支援の一環として、麻生区共催事業として開催した。</li> <li>2023年3月に学外有識者による意見聴取を実施した。地域連携推進室が中心となり対応した包括協定書締結先3社より、本学の3つのポリシー及び学修成果等に対する意見を伺い、本学の各種取組みの見直しに活用する事とした。</li> </ul>
C 新たなコース・プログラムの開発											
16	新たなコース・プログラムの開発	大学・短大・大学院の新コースの開発、教育課程外での新しいプログラムの開発	①教育課程内の新コースの検討および運用開始						60%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度新設の大学/短大「ポップ&amp;ロックミュージック」、大学院「ジャズ&amp;コンテンポラリーミュージック」「音楽と文化」の各コースの運用準備を予定通り進めた。新コース含む広報活動が功を奏し2023年度入学者増につながった。</li> </ul>
17			②教育課程外の新プログラムの検討および運用開始						60%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年3月時点の「pathways/パスウェイズ」入室者数は延べ51名。運用開始以降、入室者は順調に増えており、受験生のニーズに応えた機会提供ができています。本件、中長期計画としては当初予定より前倒しでアクションプランのゴールを達成した。</li> <li>履修者証明プログラム導入について、本件プロジェクト発足は未達。点検評価委員会と連携し翌年度の「卒業生調査」等で本学卒業生に対し履修者証明プログラム制度の認知把握等を行い、引き続き検討することとした。</li> </ul>
18			③新コース・プログラムの運用開始						-	-	2021年度に、アクションプラン16、17に併合した。
19		附属教室の新コース立ち上げ							100%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市場調査、新コースの精査と選定及び講師探し、既存コースの見直し状況について</li> <li>2022年度春期開講コース:フルートアンサンブルコース 受講生13名獲得(4月-10月実績)。現時点で13名中11名がご在籍、退室率が低く大変好評なコースになった。</li> <li>2022年度夏期開講コース:オンラインギターコース 受講生1名獲得。継続受講されており、次年度の発表会への参加についても意欲を見せて頂いている。</li> <li>2022年度9月~:受験対策スクールPathways開講(鍵盤楽器、作曲、ソルフェージュ、弦楽器、管楽器、打楽器、ヴォーカル、声楽、ドラム、ベース、ギター 計11コース開講) 3月までの間に、延べ119件の体験申込および資料請求者を獲得し、2023年度以降も順調に生徒獲得している。</li> <li>②広報戦略の構築と実施及び生徒獲得状況について</li> <li>3月末までに544件の新規入室者獲得した(年間推定実績@5,500×544=2,992,000円)。</li> </ul>
D 「本学ならではの価値」の明確化											
20	「本学ならではの価値」の明確化	「面倒見の良い大学」の見える化							100%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学の価値の明確化については、ガイドブックやSNSを通じて発信することができている。また学生を主体とした動画を作り大学のイメージを伝える活動を続けている。本学の長所を伝える活動は今後も続けていく必要があるが、中長期計画としては一定の効果があった(アクションプランのゴールを達成した)と判断し終了とする。</li> </ul>
プロジェクト③ 教職員すべてが能力を発揮できる環境の醸成											
A 人事制度改革											
21	人事制度改革	人事制度改革							25%	未達	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事異動により担当者が変わったため、改めて目標管理制度について情報収集を続けた(『私学経営』等に寄稿された関連の文章収集など)。</li> </ul>
B 業務の効率化											
22	業務の効率化	業務の効率化							55%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス会議用クラウドサービスを正式契約し、各部署への利用の推進、貸出用タブレットの数を増やしたことにより、事務会議・学園運営委員会以外の委員会でも資料のペーパーレス化が普及し想定通りにペーパーレス会議への移行が進んだ。</li> </ul>
C 「研究」「研修」時間と機会の拡充											
23	「研究」「研修」時間と機会の拡充	「研究」「研修」時間と機会の拡充							65%	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙で行っていた就業関係申請については、承認ルートを見直し、80%ほどをワークフローシステムでの申請に切り替えた。</li> <li>2022年度SD研修会(8月31日開催、専任教職員が参加)にて、改革・改善・業務効率化の観点を含めた本学の取組みををトピックとして取り上げた。2023年3月のスチューデント・ジョブ制度導入にあたり、運営補助員の関連業務を検証。結果、業務効率化を見据え複数のシステムを導入した(勤怠、電子契約、勤務シフト管理)。</li> </ul>

学校法人東成学園 中長期計画2020-2024 2022年度進捗報告

2022年3月末時点の進捗状況を確認いたしましたので以下報告いたします。  
 アクションプラン(以下、AP)全30件の2021年度末時点の進捗状況を受け、進捗状況が目標に到達できていなかったAP14件は計画の変更案を作成、これに基づき2022年度は取り組みました。  
 2022年度目標を達成したAPは25件、未達のAPは4件です。  
 なお一部のAPについては、見直しの結果、本年度より複数のAPを1つに統合し取り組んでおります。  
 ▽各アクションプランのゴールを100%とした場合

具体的な取り組み事業	行動計画 (アクションプラン)	アクションプラン細分	2020					2021					2022					2023					2024					2022年度 進捗	2022年度 目標	2022年度進捗
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
プロジェクト④ 安定的な財務基盤の確保、IR(インスティテューショナル・リサーチ)の活用																														
A PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し																														
24	PDCAサイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し	収支分析を軸とした、各事業の効果検証	→					→					→					→					25%	未達	・給与に合算しての旅費交通費・立替金を振込みは、給与システムの入替もしくは大規模な改修が前提となるため、検討を先送りした。今後は単独での振込でも旅費交通費・立替金を安価な手数料で送金できる方法を引続き検討するとともに、2024年度計画の法人個人カード導入の情報収集を前倒しすることとした。					
25		所有施設のPDCA	→					→					→					→					25%	未達	・イタリヤ財団の2025年度以降の方針決定、研修所売却のための調査は継続検討とすることとした。コロナ禍により海外への渡航が困難な為、検討を進める事が出来なかった。					
26		附属教室の運営効率化	→					→					→					→					100%	達成	・2023年1月より、仙台校が移転場所にて開校し、本アクションプランのゴールを達成した。					
B IR機能の強化																														
27	IR機能の強化	IR機能の強化	→					→					→					→					75%	達成	・IR規程に基づきIRプロジェクトを継続実施した。IRダッシュボードシステムを導入し、2023年度からの運用に向けデータ検証を行った。IRデータおよびレポートについてはアセスメントプランチェックリストに時期や提供先組織を記載し学内周知を図ることができた。					
プロジェクト⑤ 組織の活性化																														
A ガバナンスの強化																														
28	ガバナンスの強化	学内規程の整備と強化	→					→					→					→					60%	達成	・点検評価委員会ならびに内部質保証委員会にて、点検時点(2021年11月1日から2022年10月31日)のガバナンス・コード遵守項目に対する取り組みの実施状況について点検し点検結果を本学WEBサイトにて公開した。					
B UD、BD、FD、SDの推進																														
29	UD、BD、FD、SDの推進	UD、BD、FD、SDの推進	→					→					→					→					85%	達成	・2023年9月第2回FD合同研修会にて、教員より要望の多かったテーマ別分科会の開催を感染対策を講じた上で3年振りに再開した。 ・2023年3月に専任教員を対象としたFD研修会を開催。新年度に向け本学の教学運営や大学院新規2新コースの特徴・入学予定者の動向等の現状のアップデートを行った。 ・FD/SD研修、プレFDの一環として「大学等における教育FD動画コンテンツ」(オンライン)を導入した。 ・SD個人研修については、利用状況や費用対効果を検証し、次年度については、早稲田QUONアカデミーの研修は導入せず、新たにe-JINZAI for universityを導入して、効果検証を行うこととした。 Schooの運用についても、効果を検証し、次年度はe-JINZAI for universityをメインに活用しつつ、希望制で引き続き運用を続けることとした。 なお、英語に関する研修Reallyenglishも引き続き希望制で提供を続けることとした。 ・SDプロジェクト内で、2022年4月以降の受講状況等をふまえ、オンライン研修の受講ルール等の運用を見直した。 ・2022年12月の理事会・評議員会後、「学校法人のガバナンス」「日本社会経済の動向と東成学園の将来像」についてBD研修会を実施した。					
C 学生の大学運営への参加																														
30	学生の大学運営への参加	学生の大学運営への参加	→					→					→					→					100%	達成	・学生代表者と大学運営責任者による意見交換会を2回に分け実施した(2022年11月21日、2022年12月5日)。 ・点検評価委員会を中心となり、「在学生調査」「学生意見交換会」等で寄せられた意見要望を受け、改善に繋がった取り組みについて『Showa』in Action』と称した活動報告の発信を開始した。 ・学生の意見を学内運営に活かす新たな制度として、スチューデント・ジョブ制度(学修・経済・キャリアの3つの支援を1つにした新しい学生支援制度)を導入した。 ・学生の声を大学運営に活かす仕組みに対し引き続き点検が必要だが、アクションプランの取組みとしては完了(ゴールを達成)した。					